

平成 28 年度 熊本市食の安全安心・食育推進会議の報告と対応について

熊本市食の安全安心・食育推進会議 議事要旨

1 開催日時 平成 28 年 11 月 2 日 (水) 10:00~12:00

2 場所 市役所別館 駐輪場 8 階会議室

3 出席委員 17 名

議題 1

議 事	意 見	対 応
第 2 次熊本市食の安全安心・食育推進計画中間評価改訂版について	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「周知から実践へ」がテーマだが、無関心層に対し、食育への関心に引き込むことに力を入れることが必要。行動変容の成果をどのような形で評価するのか、評価指標の解釈も回答者に迷いが生じない形にできればよい。</li> <li>○周知徹底には広報が大切。ホームページ等の活用を含め、どのような工夫をするのか。</li> <li>○食品に栄養成分表示が義務化されるが、消費者がその表示を有効活用するためには、行政が見方を分かりやすく説明していく機会が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第 2 次計画最終評価および第 2 次計画のための市民アンケート項目の見直しを図る。</li> <li>○更にホームページ内容を充実させた。QRコード付きのホームページPRチラシを作成した。</li> <li>○子どもの食育推進ネットワークにて、子育て世代を対象に栄養成分表示啓発チラシを作成。今年度から配布予定。</li> </ul>
食の安全安心の確保(第 3 章)の進捗状況と今後の取り組みについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>○HACCP が義務化されると食の安全性は高まる。導入する事業者には相当な努力と知識が必要となるため、行政の支援をお願いしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○HACCP 導入支援策として、集合研修や個別研修を実施している。今後も義務化へ向けての情報収集等行い、中小事業者等の支援に力を入れる。</li> </ul>
食育の推進(第 4 章)の進捗状況と今後の取り組みについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>○食物アレルギー児を持つ児童や乳幼児について、数の把握をしているのか。</li> <li>○食育関連の講演会やイベントを実施しても、関心がないと足を運ばない。行動変容に関しては、母親が多忙な中でも必ず出向くスーパー等に周知してはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公立保育園については、約 2.96% (H28.10 月現在)、小学校は約 3.45%、中学校で 4.09% (H28 年度) が食物アレルギーを持っている子どもの割合であった。</li> <li>○熊本市とイオン株式会社で地域包括連携協定を締結 (H29.3 月)。「毎日野菜をプラス一皿」「おいしく減塩一日マイナス 2g」の啓発クリップ等を惣菜売り場等に掲示するよう働きかける。</li> </ul>
その他(第 3 次計画策定へ向けて)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○食の安全安心の施策は再掲の項目が多い。それぞれの進捗状況を把握できるような指標を設定する方がよいのでは。</li> <li>○田崎市場体験は学生にとって有意義なので、参加人数を増やして欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第 3 次計画策定時に、より適切な成果指標の設定を検討するとともに、取組むべき施策の進行管理をするために活動指標を設定することを考えている。</li> <li>○熊本地震による業務見直しのため H29~H31 年度は事業を縮小することとなった。その後の検討課題とする。</li> </ul>